

2021年3月期 第2四半期 決算説明会（電話会議）における
説明要旨と主な質疑応答

日 時 2020年11月10日（火）14:00～15:10

1 2021年3月期 第2四半期実績について

「2021年3月期 第2四半期 決算説明資料」に基づき、説明を実施した。

2 2021年3月期 通期業績予想 / ESG経営の推進などについて

「2021年3月期 第2四半期 決算説明会プレゼンテーション資料」に基づき、説明を実施した。

3 主な質疑と回答

（1）当社を取り巻く受注環境について

- Q 3か月前の通期業績見通し発表から受注環境に変化はあったか。また、下期の受注高として1兆円以上が予想されているが、後ろ倒しとなる懸念はないのか。
- A 国内建築の受注において、新型コロナウイルス感染拡大による工事計画の延期や中止などの影響は6月頃まで生じていたが、それ以降はない。工事計画の延期や中止があった物件は限定的で全体への影響は大きくなかった。また、下期に大型工事の受注を見込んでいるが、当該案件は現在設計のVE作業段階などの状況であるため、発注が次年度に延期される可能性は少ないと見ている。これにより、通期の受注見通しは達成可能と見込まれる。
- A 国内土木の受注においては、当社の主要マーケットである鉄道工事、特にリニア新幹線や大阪万博を見据えた地下鉄工事や、また、道路工事においては高速道路の4車線化や大規模なリニューアル工事など、堅調な受注環境が継続している。加えて、近年の大規模な自然災害を受け、政府や地方自治体によるインフラ緊急復旧支援活動への参加もあり、受注環境は8月に通期見通しを発表して以来変わっておらず、年度末に向けて通期受注見通しを達成すべく、取り組みを進めていく。
- Q 国内建築の工事計画情報量は過去5年と同水準とする一方で、中長期的には新型コロナウイルス感染拡大による景気後退があれば競争激化の可能性もあるとの説明があったが、今後の価格競争について、どの様に見ているのか。
- A 都心部の大型工事については、各社とも以前より注力しており競争は厳しい。ただし当社は、安定的な売上高の維持による労務の確保という観点からも、大型案件に加え中小規模案件もバランスよく受注する必要があると考えている。昨年度までは各社十分にストックがあったが、五輪関連需要が落ち着いた今、大型案件については競争が激化しており、当社の受注時採算も若干低下している。
- Q 国内建築の受注において、新型コロナウイルス感染拡大による工事計画の延期・中止の影響は6月以降発生していないとの説明があったが、工事計画が再開されたケースはあるか。また、用途別のトレンドはあるか。
- A 限定的に工事計画の中止や見積着手の延期が発生したと説明したが、計画中止は一部であり、

ほとんどは見積着手の延期である。工事計画の再開時期は個別案件によるため、一様ではなく、徐々に再開すると見ている。当社の工事情報量全体に占める、中止、中断の割合は5%以下なので、受注計画に対して大きな影響はないと考えている。また、用途別では、工事計画が中止・延期となったのは宿泊施設等の案件が多いが、発注者の経営方針によっては、他の用途についても同様のケースが見られる。なお、宿泊施設については、リニューアル工事の需要も減少している。商業施設に関する需要は、コロナ以前から減少傾向にあったため、あまり影響はない。

Q 物流施設における競争環境は、他用途と比較してどうか。

A 2年ほど前から、物流施設案件は当社の売上・利益に貢献している。大型案件は、採算性向上の工夫の余地があるが、最近は中小規模案件も増加している。中小規模案件では中堅ゼネコンとの競争となるため、他社と差別化した技術を取り入れコストダウンを図る必要がある。当社は物流施設に0-RCS構法®を取り入れるなど様々な構造の採用により、物流案件の大型化に対応してきた。物流施設は、他の施設には想定可能なテナント工事などによる着工後の採算性改善が難しいため、受注段階で採算性を確保すべく努力している。

Q 下期に受注が期待される大型工事の受注時採算性は。

A 東京、大阪、福岡などの大都市圏の大型案件の受注を見込んでいるが、受注時採算性に全体的な傾向がある訳ではなく、個別案件による。

(2) 当社の業績見通しについて

Q 国内建築事業について、上期の受注状況から新型コロナウイルス感染拡大の影響により比較的工期が短い製造業の生産施設の需要が弱くなっていると推測されるが、そうした状況から2022年3月期の業績は、下期に受注が期待される大型案件が着工直後で来期の売上高にさほど貢献しないことも考慮すれば、当期に引き続き減収減益となるリスクがあるのではないか。

A 下期に受注が見込まれる大型案件の来期売上高は国内建築売上高全体の10%に満たないと見ている一方で、現在施工中の大型工事については、全体の60%に相当する売上計上を予想しているため、来期に売上高が大きく減少するという予測はしていない。しかしながら、来期の売上に寄与する期中受注・期中売上となるリニューアル工事や小型工事などについては、製造業の設備投資の減退による影響が懸念されるので、情報量の多い物流施設やデータセンターを受注することで、安定的な売上高を確保したい。

Q 2023年3月期に手持ち大型工事の施工最盛期を迎え、売上高が増加すると認識しているが、今後2～3年の内に、過去最高売上・利益を達成することは可能か。

A 安定的な受注・売上と、一定水準以上の採算を目標としている。そのために工事計画情報を多く入手し、安定的な受注を確保することを基本方針として取り組んでいる。

(3) 当社グループの海外事業について

Q サンフランシスコのミレニアムタワーの調停について、和解が成立したとホームページに発表されていたが、その内容について教えてほしい。また、サンフランシスコのトランスベイトランジットセンターの係争について、現況は。

A ミレニアムタワーについては、ホームページにも掲載している様に、ウェブコー、当社を含む関係者間で和解が成立した。和解条項に基づき、詳細は開示できないが、本件和解に伴う当社連結業績への影響は軽微である。トランスベイトランジットセンター鉄骨梁ひび割れの

件については、関係者と裁判手続き中であり、回答は差し控える。

- Q 海外事業、特に北米について、足元の工事の稼働状況、受注環境は3か月前と比較して改善しているか。
- A アメリカ・アジアの全てで工事は再開したものの、シンガポールにおいては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により主な労働力である外国人労働者の確保に苦勞している。また、北米においては、現地グループ会社ウェブコーの売上高に工事中断の影響が出ているが、受注環境については、2022年3月期から徐々にコロナ以前の水準まで回復すると見ている。
- Q 海外建設事業の通期業績見通しにおいて連結営業利益を15億円としており、上期実績を踏まえると下期は更に減少する予想となるが、保守的に見込んでいるのか。また、2022年3月期は北米の受注環境が回復すると説明があったが、海外建設事業における2022年3月期の連結営業利益水準はどう見ているか。
- A 概ね通期業績予想通りに着地すると考えており、これ以上大幅に悪化する状況ではないと見ている。先程説明した通り、北米においては2022年3月期以降の業績回復が期待されるため、2022年3月期の連結営業利益は2020年3月期の水準に近づく可能性もある。

(4) その他の質問

- Q 洋上風力において、FIT 価格上限が 29 円/kwh と公表されたが、事業者としての取り組み姿勢に変化はあるか。また、当該投資の原資を確保するために、例えば政策保有株を売却するという事は考えているか。
- A 供給価格が、既に公募入札中の「長崎県五島市沖」の上限 36 円/kwh から、29 円/kwh に引き下げられたことにより、入札への事業コスト縮減の圧力が強まったと認識している。しかしながら、公募占用指針で示されているように、事業実施能力及び地域との調整や事業の波及効果に関する評価が半分を占めることから、公募入札への参加に向けて、供給価格だけでなく総合的に高評価が得られるよう参加予定メンバーとともに精力的に検討を進めたい。また、投資資金については、リードタイムの長い事業であるのでその時々状況に応じて判断していきたい。
- A 政策保有株の売却は、海外投資家の方から厳しい意見があることは認識しており、必要に応じて売却を進めていく。なお、政策保有株の処分を、洋上風力事業に対する投資資金調達方法と結び付けて考えていない。
- Q 建造中の SEP 船について、クレーン能力増強に伴い、2023 年まで完成時期を延期すると発表があったが、SEP 船完成後に洋上風力発電施設の施工を受注するのか。それとも、完成前に受注するのか。
- A 促進区域に指定される海域が増え、沢山のプロジェクトが上がってきているが、いずれにおいても、具体的なスケジュールは見えていない。そのような状況下で、少なくとも、2024 年 3 月期以降には着工すると想定したうえで建造を進めており、事業者・施工者両面での取り組みも視野に入れている。
- Q 中期経営計画 2017 において、目標に掲げる自己資本 9,000 億円、自己資本比率 40%の達成が見えてきている中、株主還元の強化は有り得るのか。
- A 現在、洋上風力を含めた様々な分野に対する投資や、財務体質の強化に注力しており、これを継続する。株主還元方針については、次期中期経営計画立案の際に併せて検討していきたい。

以 上